

一 高田町年寄古来方勤来候訳、春日山御城下以来福嶋・高田迄於より つとめきたりしそろうわけ まで いまにおいて

尔今相続相勤申候、春日山二而之儀八年久儀故、申伝斗二而先祖之名そぞくあいつとめもうしそろう ひさしきぎゆえ ばかりにて

慥二覚不申候、福嶋以来者森三右衛門・磯野六郎右衛門・池田八郎兵衛・吉田七兵衛は

数代相勤申候、御馬出し之角二四軒共二罷有候故、前々方四ツ角と名ヲあいつとめもうしそろう のかに まかりありそろうゆえ より

唱申候、右四人之外高田・福嶋共二町年寄と申ハ無御座候となえもうしそろう のほか しごとなくそろう

一 吉田親七兵衛儀、三拾年以前御役被召上候、夫方三人二而相勤申候、七兵衛めしあげられそろうわけは おだい それより にて あいつとめもうしそろう

御役被召上候訳ハ、越後守様御代町年寄役料として御蔵米三千石めしあげられそろう おだい それより にて あいつとめもうしそろう

宛拜借被仰付敦賀廻し仕払立、翌年御勘定遂申候処二、三拾おせつけられ しはらいたて とげもうしそろうところに

五年以前寅ノ年右代金之内三百式拾五両親七兵衛引負申候二付、御役ひきまけ(おい)「不納」もうしそろうにつき

儀被召上候、依之家財等売払金五拾両差上相残所町中并相役めしあげられそろう これにより あいのころころまちじゅうならびにあいやく「町年寄」

者共合力仕、其上居屋敷店賃等ヲ以拾年割年賦二相願事済ものども(こうりき)つかまつり いやしき たなちんなどをもって あいながいことすみ

申候處二、其後高田大地震之節家不残潰、右年賦金茂差上申もうしそろうところにて のこすづぶれ も

方便何茂無御座候故、兎角七兵衛家屋敷被召上可被下由相願、なにも(い)ざなくそろうゆえ とかく めしあげられくださるべくよしあいながい

依之右引負之方二家屋敷被召上候、併数年御使役ヲ茂相これにより めしあげられそろう しかし も あい

勤候者之末ヲ御禿被成候茂不便二被思召候由、安藤太郎左衛門殿と申つとめそろうも おかざろ(無一文)なられそろうも おぼしめされそろうよし もうす

御奉行被仰渡候者向後七兵衛屋敷御使者宿二御定、書院・勝手おせわたらせそろうは こうい おさだめ しょいん かつて

并惣長屋迄越後守様方不残御普請御立揃被成、七兵衛二御使者宿ならびに そらがやまで より のこらす おたてそろえになられ ごししややど

御預ケ被成、惣長屋之店賃七兵衛二被下置、并時之鐘七兵衛御取上おあずけになられ そらがやの たなちん くだしおかれ ならびに ときのかね おとりあげ

屋敷之内二御建被成、町中方右鐘擋(搦)扶持米として米三拾四石のうちに おたてになられ より かねつき ふちまい

是又七兵衛二被下置、御役相勤罷有候これまた くだしおかれ あいつとめ まかりありそろう

〔後略〕